

むらかみ

運動会に向け 猛練習
-保内小学校-



【特集】豪雨災害調査 … 2
9月定例会
一般質問…………… 6
主な議案…………… 10
決算審査…………… 12
議案の審議結果…… 14
倫理条例案の意見募集… 9
市民ヘインタビュー… 16

8月豪雨

被災の現状・課題を調査



8月3日から4日未明にかけて本市は記録的な豪雨にみまわれ、神林地区小岩内集落での大規模な土石流の発生や荒川地区坂町地域の浸水被害をはじめ、市内各所に甚大な被害をもたらしました。

市議会においても、被災状況や復旧の進捗状況の把握に努めたところですが、被災者対応が一段落した9月以降、被災地や被災施設のその後の状況や、本復旧に向けての課題などを探るため現地調査を行いました。その概要を報告します。



8月4日未明に発生した土石流により、大量の土砂や流木が襲った小岩内集落。流失家屋1棟、土砂・流木の流入6棟、床上浸水7棟などの住宅被害のほか、隣接する川部集落と合わせ、水田への土砂の流入など多くの農業被害も発生しました。

小岩内集落

現在地での復興に課題も

これまでに道路上の多量の土砂や流木は撤去されましたが、集落には現在も避難指示が出されており、住民の大半は、荒川地区公民館脇に設置された仮設住宅での生活を余儀なくされています

55年前の羽越水害でも被害を受けた地域であり、住民の意向を十分に確認しながら、どのような形で復旧・復興を進めるのが大きな課題であると認識しました。



豪雨災害への議会の動き

災害対策支援本部を設置

議会では8月3日に災害対策支援本部を設置しました。翌4日には、三田議長と大滝副議長が甚大な被害となった小岩内集落に赴き、住民から直接話を伺いました。

各議員も被災状況や被災住民の要望の把握に努めたところですが、市の災害復旧や被災者支援に向けた取り組みに、議会全体で支援、協力を行っています。



議会費を被災者支援に充当を ~高橋市長に申入れ~



議会として被災者の置かれた状況に少しでも寄り添うとともに、財源確保の観点から以下の申し入れを行いました。

1. 災害見舞金の支給対象となる被災区分および金額を検討し、効果的に支給できるよう早急に検討すること。
2. 本年度予算の議会費のうち、委員会活動に必要な経費の一部を災害関係費用に充てられるよう取り図ること。

令和4年度一般会計補正予算（第9号）

災害復旧へ92億円の大型補正

公共施設の復旧工事から被災者支援まできめ細かく



【歳入】

地方交付税…	5億円
国庫支出金…	7億233万円
県支出金…	31億5,555万円
繰入金…	10億1,410万円
市債…	36億4,370万円
その他…	2億3,980万円

公共土木施設災害復旧費… 11億9,970万円
市道等災害復旧工事ほか

堆積土砂排除事業経費… 9,650万円
宅地内の土砂撤去・排除工事

児童福祉施設災害復旧費… 4億3,920万円
あらかわ保育園災害復旧工事ほか

小学校施設災害復旧費… 2億1,670万円

被災自動車支援事業経費… 1億1,530万円
廃車および修理費用の支援

産業振興対策経費… 5,120万円
店舗等修繕、機械設備修理等への補助ほか

【歳出】

農地農業施設災害復旧費… 49億4,000万円

農業振興経費… 1億674万円
被災農業者の施設復旧、機械修理等の補助

林業施設災害復旧費… 12億7,670万円

その他… 8億1,346万円

注）補正予算には新型コロナウイルスワクチン接種事業経費1億5,308万円が含まれます。

議会の活動レポート

地域を見る、聞く

イノシシ対策を意見交換

7/19 経済建設常任委員会

4月に実施したイノシシ被害についての現地調査に引き続き、県猟友会村上支部役員の皆さまと、会の現状と課題について意見交換を実施しました。

猟友会の現状

村上支部には11の分会があり、関川村に2分会、市内では荒川、神林、山辺里、村上朝日南、高根、朝日北、山北南、山北北の9分会が置かれています。狩猟免許の所持者数は178人ですが、会員は高齢化しており、新たな会員の確保が課題となっていることです。

捕獲後の焼却処分

イノシシを捕獲後に焼却処分するためには、ある程度解体する必要がありますので、市の遊休施設（廃校等）を活用した処理施設を整備していただきたいとのことでした。

出動しやすい環境づくり

クマなどの出動があった場合、

猟友会に出動要請を行っていることから、消防団協力事業所表示制度のような取り組みを猟友会にも適用し、出動に対する事業所の理解を得られるような仕組みづくりが必要であるとの意見がありました。

猟友会からの要望

狩猟技術向上のため、市内に射撃場を整備することや、人的被害が想定される場合など、の緊急出動に対する報酬増額への要望がありました。



猟友会との意見交換

まち協の体制強化の取り組み

8/1 市民厚生常任委員会

さんぽく会館において、山北地区まちづくり協議会役員との懇談会を行いました。

山北地区の現状

山北地区では、人口減少が進み、高齢化率も市内平均を大きく上回る52.0%となっているとのこと。超高齢化の状況に伴い、これまで地域活動を担ってきた75歳未満の人口が減少している地域が多く、地域コミュニティの維持が困難となり、地域活動の停滞や助け合いの機能の低下など、地域の暮らしに大きな変化をもたらしているとの現状を伺いました。

支え合いの機能強化

これらの現状を踏まえ、今後は、お互いに支え合える機能を強化することで、地域での暮らしを維持・継続できるように支援を充実させていくとともに、他の団体とも力を合わせた取り組みが必要となっているとのことでした。

課題解決に向けて

今後5年間で課題解決に向けた取り組みを進めるため、実行体制については、地域活動を担当する「地域コミュニティ部会」、各種団体活動を担当する「地域パートナーズ部会」、地域を担う人材育成を担当する「地域リーダーズ部会」の3部会で組織し、より実効性のある体制づくりを検討しているとのこと。前向きに進めていく姿勢を共有し、委員会として市政に生かしていきたいと感じました。



まちづくり協議会との懇談会

9月定例会

一般質問は、市の行政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、掲載された原稿は質問者が作成しています。

一般質問

市政のことが聞きたい

一般質問

1 **富樫雅男**

1. 県北豪雨災害

2 **市声クラブ 山田 勉**

1. 8月豪雨による災害
2. 被災した漁業協同組合への支援

3 **令和新風会 川村敏晴**

1. 8月3日からの豪雨に伴う災害への対応

4 **稲葉久美子**

1. 8月豪雨災害後の中小零細企業及び商工関係者の再建
2. 新型コロナウイルス感染症対策
3. 旧統一教会関連団体との関わり
4. 安倍元首相の「国葬」

5 **上村正朗**

1. 介護人材の確保
2. LGBT（性的少数者）の方が暮らしやすいまちづくり
3. 中小企業振興基本条例に基づく地域経済の振興



※紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や、市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。



「村上市議会映像配信」検索
<http://www.murakami-city.stream.jfit.co.jp/>



クリック!!

県北豪雨災害の対応は



富樫 雅男

問 水害により自動車が使えない方が多くあったことから、支援物資の配布場所を被災地の近くに設けるなど、被災者に寄り添った支援ができなかったのか。

答 荒川支所では配布物資を前坪公園へ運搬し、区長や消防団の協力も得ながら配布に務めた。

問 給湯器の復旧は長期化が予想されるが、被災者への無料入湯サービスの継続の考えは。

答 被災後の厳しい中、ご不便をおかけしているが、最大限の支援を継続する。

問 床下浸水した世帯数は。

答 8月23日までの被害認定調査で約2300世帯余りのうち、987世帯の床下浸水世帯が確認された。

問 床下浸水世帯に対して

も、災害義援金が支給されるのか。

答 床下浸水世帯も含める考えである。

問 市営前坪住宅の復旧対応は。

答 順次修理工事を進めており、床の張り替え、流し台、建具、給湯器等も適宜、修理や取り換えを行う。

問 小規模事業者への支援は。

答 被災した事業者は171社あり、被害総額は約12億9千万円に上る。市独自に県のセーフティネット資金の信用保証料を100%補給することとしたが、引き続き、国県にも支援について要望をしている。

問 中小河川、用水路の在り方の再検討についての考えは。

答 計画雨量等の検証を含め、復旧に取り組み必要があると考えている。



8月4日早朝 住宅地の濁流（藤沢地内）

被災した漁協への支援は



浸水被害を受けた第三ふ化場（三面川鮭産漁業協同組合）

問 8月豪雨により、三面川鮭産漁協では11万6千匹、荒川漁協では6千匹のサクラマス、稚魚、親魚が流されるなどの被害があったが、財政支援策についての考えは。

答 稚魚などの流出に加え、冷凍冷蔵庫などの浸水被害や一括採捕檻が土砂に埋設する被害などもあった。養魚購入費および施設復旧経費について、国県の補助制度に上乗せする形での支援を考えている。

問 荒川地区の水道の通水が当初の見通しより遅れた理由は。

答 断水発生当初、荒島浄水場と配



山田 勉

水池の施設点検をした際には、大雨による影響は少ないと判断し通水を行ったが、その後大規模な漏水が発生していることが判明し、再び断水することとなったものである。現状は、応急復旧での供給であるため、本復旧に向けて作業を進めている。

問 砂防ダムの維持管理は。

答 砂防ダムは土砂等の堆積によりダム施設の上流部の勾配が緩くなることで、急激な土砂流出による災害を防止する調整機能が維持される構造となっている。このため、通常はダムに堆積した土砂の撤去は行わず、土砂災害を防止する施設として活用することになるが、流木等が多く堆積した場合などには、緊急的に除去を行う場合がある。このたび県において土砂の堆積状況の確認が行われ、必要と判断された場合には土砂撤去が行われる。

住宅敷地内の土砂撤去は

問 流出した土砂等の処理方法は、

答 基本的に土地の所有者や管理者へ処理をお願いするが、流出土砂が河川、道路、農地、住宅地など広範囲に一体的に堆積している箇所は、関係者と協議し処理を進めている。

問 敷地内に流れ込んだ土砂や大型の石などの処理は、人力では対処できない状況もあるが。

答 重機による土砂等の除去は、市道の土砂撤去などの際に使用する重機で対応できる範囲について除去を行っているほか、重機ボランティア団体の協力を得ながら行っている。



土砂撤去に公的支援を（花立地内）



川村敏晴

問 住宅敷地内への土砂流入やのり面崩壊などは、基本的に土地の所有者、管理者の負担とのことだが、個人の能力を超えた被害もある。市長の政治力を発揮し、これらに対する救済の道筋をつくっていただきたいが、市長の考えは。

答 正にそれが必要だと感じており、発災直後から国等と連携している。結果として岸田総理および谷防災担当大臣に現地視察をしていただき、直接地域の実情をお伝えすることができた。市が単独でできることには限りがあるため、本市と関川村が連携し、国へ要請していく準備をしているが、その際には、地元選出の国会、県議会議員の皆さまと連携して進めていきたい。議員ご提案の部分は、これからしっかりと取り組み、一つ一つ制度を明らかなものにしていく必要があると考えている。

被災した店舗の修繕支援は

問 災害で修繕が必要な店舗への支援や公共料金等の減免は。

答 事業継続、早期再開を支援するための施策については、国県で検討中であり、支援制度が確実に講じられるよう全力で取り組む。また、公共料金等の支援策については、店舗等が床上、床下浸水などで被災し、受水槽の濁水排水や土砂などの清掃で、通常よりも多く水道水を使用した場合などに減免措置を講じている。

問 新潟県では、BA・5対策強化宣言が9月30日まで延長されたが、無料検査も引き続き行われるのか。

答 県民向けの無料検査については、オミクロン株による感染が継続している状況から、9月30日まで延長



稲葉久美子

して実施する。本市では、村上市岩船郡薬剤師会の協力で、日曜日や祝日にも市内薬局等で無料検査を受けることが可能である。

問 「郷土を元気にする会」が旧統一教会の後押しのもとに開催した講演会と承知で後援したのか。

答 後援申請書にある団体の概要では、特に団体との関連を示す内容はなく、本市にゆかりのある「堀直奇公」の功績を市民に伝えるという趣旨を踏まえ、本市の基準で決定した。

問 講演会で「行政と手を組めることが多々ある」と述べているが、具体的にどのようなことか。

答 本市で進めている歴史や伝統文化を保存し、活用していく取り組みと重なる部分が多いと考えた。



事業者の早期事業再開に向けた支援を（坂町駅前）

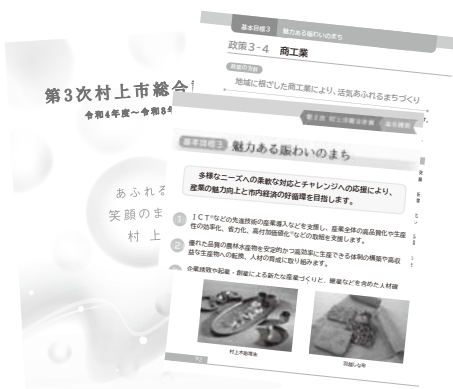
地域経済振興の推進強化を



上村正朗

問 中小企業振興基本条例に基づく地域経済の振興のため、産業振興会議等の組織を設置すべきと考えるが、
答 これまでも、関係機関、団体、企業者と連携を密にしながら取り組みを進めてきた。今後は市民参加の方策について検討していきたい。
問 大学等と協力して地域経済に関する調査を実施すべきでは。
答 東京理科大学等と連携して調査を行い、施策に反映させてきた。本市の地域経済基盤を確かなものとするため、連携を強化していきたい。

問 介護人材の確保のため、研修会の開催等の施策が必要と考えるが。
答 介護人材確保推進事業に基づいて施策を進めてきた。今後も事業者の意見を聞き、取り組んでいく。
問 外国人の介護人材確保は。
答 外国人技能実習生は、介護人材確保に大きな効果があるが、実習生の獲得には、事業者の負担が大きいことから、支援策を検討したい。
問 LGBT（性的少数者）のカップルの関係を公に証明する「パートナーシップ制度」を導入すべきでは。
答 制度導入により、どのような対応が可能となるのか、導入した自治体を参考に研究していきたい。



総合計画に基づく地域経済振興の取り組み

議会改革

信頼される議会であるために

村上市議会議員政治倫理条例【案】について 意見募集（パブリックコメント）を実施します

村上市議会では、議会改革の一環として、議員の政治倫理意識の向上および確立を図るため、議員政治倫理条例の制定を進めています。皆様のご意見をお聞かせください。

案 件 名	村上市議会議員政治倫理条例（案）
募 集 期 間	11月15日(火)～12月5日(月)
概 要	<p>村上市議会基本条例の理念に基づき、政治倫理の基本となる事項を定めることにより、議員の政治倫理意識の向上および確立を図り、市民に信頼される公正で民主的な市政の発展に寄与するため、条例を制定するものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民全体の代表者である「議員の責務」と、主権者である「市民の責務」を規定。 ・市民全体の奉仕者として順守すべき8つの政治倫理規準を定めています。 ・政治倫理規準に違反した疑いがある場合の審査制度を創設。
意 見 を 提 出 可 能 な 人	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の人 ・市内に勤務、通学している人 ・市内に事務所または事業所を有する個人および法人その他団体
条 例 (案) の 閲 覧 ・ 意 見 書 用 紙 の 入 手 場 所	<p>議会事務局または各支所地域振興課総務管理室 ※市ホームページでも閲覧・ダウンロードできます。</p>
意 見 出 書 方 の 法	<p>意見書（所定の様式）に住所、氏名、電話番号、意見を記入し、持参、郵送、FAX、電子メールのいずれかの方法で提出してください。 市ホームページの入力フォームからも送信できます。</p>
提 出 先	<p>議会事務局または各支所地域振興課総務管理室 ○郵送：〒958-8501 村上市三之町1番1号 ○FAX：0254-53-3219 ○電子メール：gikai@city.murakami.lg.jp</p>

市職員の定年年齢を段階的に65歳へ引き上げ

議第95号 村上市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定

地方公務員法の改正により、市職員の定年を65歳とする条例改正。令和5年度から2年ごとに1歳ずつ引き上げ、13年度から65歳定年に完全移行します。

神林いこいの家を今年度末で廃止

議第104号 神林いこいの家条例を廃止する条例制定

介護予防を目的とした「生きがい活動支援通所サービス事業」の実施場所として利用していますが、5年度からは軽度の運動を取り入れた介護予防を中心とした内容に見直し、より広い会場での実施を検討しているため、廃止します。

問 介護予防のための重要な施設だが、利用者に対して十分な説明を行ったのか。

答 指定管理者より廃止に向けた説明を行い、理解を得ている。今後は新しい介護予防事業に参加できるように準備を進めている

神林いこいの家（上助測地内）



9月定例会

令和4年村上市議会9月定例会は、9月6日から30日までの25日間の会期で開かれました。この定例会には、市長から条例改正や補正予算、人事案件など議案54件、議会側提案の議員発議3件が提出され、全て可決、承認、同意しました。

新町地内の1路線を市道認定

議第105号 市道路線の認定

市道路線認定申請に伴い、道路用地として寄附を受けた新町地内の1路線を新たに認定します。認定には、道路幅員4m以上や道路の敷地は全て村上市に無償寄附されるものであることなどの条件に該当しなければなりません。

問 定例会のたびに市道の認定・廃止の議案が出るが、申請から議案提出までの期間はどのくらいかかるのか。

答 今回の市道路線認定申請は5月31日に提出されたもので、現地および必要書類の確認をした後に議案提出となる。

上助測コミュニティセンターの指定管理

議第107号 公の施設に係る指定管理者の指定

5年4月から5年間、上助測集落を指定管理者とします。

問 この施設は集会センターだと思うが、指定管理料が発生しているのはなぜか。

答 上助測コミュニティセンター条例により運営されており、集落の施設ということだけではなく、地域一般に開放され、村上市民どなたでも利用していただけるというような形で運営されているためである。

令和4年度 一般会計補正予算

児童生徒の就学を支援

小・中学校就学援助経費 867万円

学用品費や給食費などを助成する就学援助の申請が増えたため予算を増額します。

問 就学援助の申請状況は。

答 今年度から、児童生徒の全員に申請用紙を配布した。申請者は839人で、認定者は小学校452人、中学校281人である。当初予算では600人から630人程度の受給を見込んでいた。

管理不全の空き家を解体

空き家等管理不全防止対策経費 2,198万円

倒壊等により著しく保安上危険となる恐れがあるなどとして「特定空家」に認定された5軒を解体します。

問 解体される空き家の所有者の責任は。

答 相続放棄が3件、相続財産管理人の弁護士による管理が1件、生活保護での施設入所者所有のものが1件で、それぞれ管理責任を問えない状況である。



納期が遅れる除雪車への対応

除雪対策経費 1,049万円

今年度、除雪車購入契約を締結した車両について、半導体の供給不足の影響により納入時期の変更があり得る状況であるため、代替車両6台を4カ月間のレンタルで対応します。

市民ふれあいセンターの老朽化を調査

村上市民ふれあいセンター経費 783万円

建築後26年経過した施設を計画的に改修するため調査を行います。

問 今後どのような改修を見込んでいるのか。

答 空調、照明、電気関係の設備、音響など、老朽化している部分が多く、優先度を考慮しながら計画的に改修していくために調査をします。



今後、改修が見込まれる村上市民ふれあいセンター

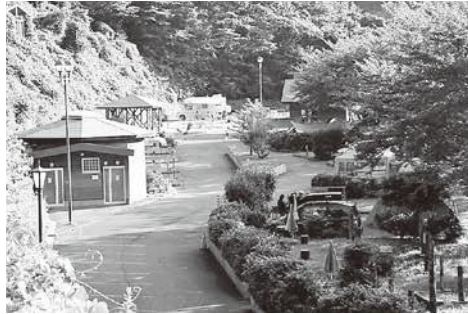
令和3年度一般会計決算 歳出361億円をチエツク

歳入約379億、歳出約361億となった令和3年度一般会計歳入歳出決算認定が、議長を除く全議員で構成される「一般会計予算・決算審査特別委員会」に付託され、それぞれ総務文教・市民厚生・経済建設の各分科会で慎重に審査されました。
7日間で行われた質疑のうち、主なものを紹介します。

決
算
審
査

歳入

二子島森林公園使用料
195万円



二子島森林公園オートキャンプ場

問 利用者数はどのくらいか。
答 3年度は年間7368人である。

問 観光客の誘致に市として支援できることは。

答 今のところ、具体的な支援策はないが、アウトドアブームなども考慮し検討したい。

保育士等処遇改善臨時特例交付金
587万円

問 保育士等の給与3%引き上げの仕組みは。

答 コロナ禍における国の経

歳出

生活交通確保対策補助金
1億9177万円

村上市スケートパーク広告収入
40万円

問 スケートパークがナショナルトレーニングセンターに指定された良い機会でもあり、広告の掲載スペースの拡大や増収への取り組みは。

答 現在、具体的なことは示せないが、ナショナルトレーニングセンターの指定を契機として事業者をお願いしていきたい。



有料広告掲載イメージ

済対策として、民間および市営施設の保育士や学童保育所の支援員等を対象に、収入の3%（月額平均9千円）程度を用途に引き上げる処遇改善に対する交付金制度であり、補助率は10分の10である。



有料広告掲載イメージ

問 新潟交通観光バスへの補助金であるが、それに対応する国県の補助金や有利な市債はないのか。
答 支出した補助金のうち8割が特別交付税に算入される。

子育て応援タクシー利用補助金
1万円

問 1千万円の予算に対して1万7970円の決算となった原因は。

答 妊婦と病気の子どもに利用していたために、陳情から始まった事業であるが、実績は妊婦のタクシー代のみであった。母子健康手帳の交付時に周知しているのに、周知漏れはなかったと思う。今後は、子どもが病気になる際の、受診での利用を伸ばすことを考えていきたい。

保育士資格取得支援補助金
1万円

問 107万円の予算に対して、1万2900円の決算であったが、どのような状況か。
答 20人位の方から希望があったため予算化した。試験の結果、合格して補助対象となった方が1人であった。3年かけて取得することも可能なので、今後の保育士不足解消につなげたい。

保育園運営経費
9億9266万円

問 3歳未満児の待機児童問題は解消に向かっていくのか。
答 保育士の数は、昨年同期比3人増である。また、今年度後半に育休から3人が復職、さらに来年4月からは8人が復職予定である。今後職員採用等により待機児童解消に努めていきたい。

火葬場運営経費
1億255万円

問 老朽化に伴う建て替えの計画は検討されているのか。

答 人口動態を見据えた上で、市全体で何箇所が適正かなどを検討している。



平成30年に神奈川県から移住された小川典男さん

有害鳥獣被害防止対策協議会負担金

450万円

問 有害鳥獣対策は市の事業というよりは、対策協議会の活動と考えて良いのか。

答 有害鳥獣対策は市の事業であるが、市が直接従事できない捕獲などの部分に関しては、猟友会と協力しながら対策協議会の活動として進めている。

空き家バンク移住応援補助金

392万円

問 補助金を活用して本市に

移住してきた世帯数は。

答 平成23年9月から令和4年3月3日までの累計実績で、県内から18世帯、東北地方から5世帯、関東地方から21世帯、中部地方から4世帯、近畿地方と九州地方からそれぞれ1世帯の合計50世帯である。

地域林業活性化事業経費

5403万円

問 森林環境譲与税の約7千万円の主な使い道は。

答 会計年度任用職員2人分の人件費、林政アドバイザー1人分の報償費、経営管理意向調査業務委託料、経営管理権集積計画作成業務、木育インストラクター養成講座の経費、新潟県スマート林業推進協議会の負担金に充てている。

ふるさと納税寄附者記念品代

1億6700万円

問 ふるさと納税の現状と課題は。

答 返礼品は、越後村上物産会を通じて選定している。寄附者は寄附額に見合う量や質などに関心が高いようである。

ので、他市の取り組みを参考に、本市の優位性がどこにあるのか見極め、返礼品の内容を検討していく。

排水路維持管理経費

1654万円

問 冠水被害が多発しているが排水路の改修計画は。

答 田んぼダムや雨水幹線の整備等と合わせて、流域治水の関係者と総合的な対策について協議を進めており、それを踏まえ改修などを進める。

防災士養成委託料

156万円

問 防災士の昨年度新規取得者は25人だが、現在の資格者総数は。

答 4月の段階で251人である。

問 防災士は地域防災の大切なキーパーソンになる。年代別の検証などは行っているのか。

答 30代や女性も増えており、むらかみ出前講座を充実させ、リーダーになる方を養成していくことを考えている。

各種大会出場選手派遣旅費等補助金

582万円

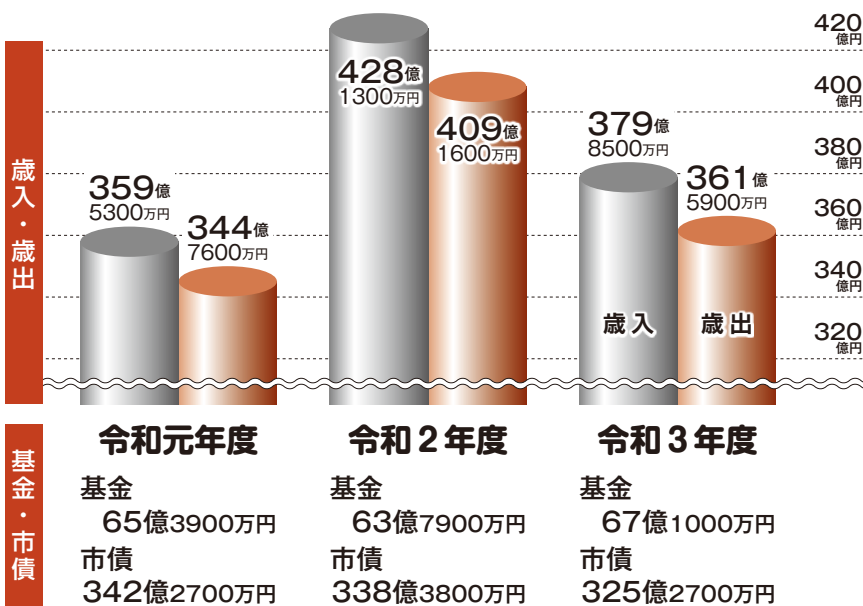
問 各種大会に出場する時の個人負担が多いため、支援の検討が必要とを感じるが。

答 市民が全国大会以上に出場する場合、激励金として1

人5千円、5人以内の団体で2万円、6人以上の団体で3万円を交付している。将来的に学校部活動は学校から離れ、全て地域に移行することになり、スポーツ少年団等と同様になる。地域、少年スポーツも含め、支援の在り方を検討していく必要性を感じている。

過去3年間の一般会計の決算額推移

※金額は100万円未満四捨五入で記載しています。



議案の審議結果

議案番号	議案名	表決	結果
議員発議第7号	コロナ禍において私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書の提出について	全会一致	原案可決
議員発議第8号	コロナ禍において私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書の提出について	全会一致	原案可決
議員発議第9号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	全会一致	原案可決
議第80号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（佐藤八重子氏：再任）	全会一致	原案同意
議第81号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（相馬由紀子氏：再任）	全会一致	原案同意
議第82号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（菅原千鶴子氏：再任）	全会一致	原案同意
議第83号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（加藤直子氏：再任）	全会一致	原案同意
議第84号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（佐野一彦氏：再任）	全会一致	原案同意
議第85号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（和田壽久氏：再任）	全会一致	原案同意
議第86号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（加藤正志氏：再任）	全会一致	原案同意
議第87号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（神田秀孝氏：新任）	全会一致	原案同意
議第88号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度村上市一般会計補正予算（第6号））	全会一致	原案承認
議第89号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度村上市上水道事業会計補正予算（第1号））	全会一致	原案承認
議第90号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度村上市簡易水道事業会計補正予算（第1号））	全会一致	原案承認
議第91号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度村上市下水道事業会計補正予算（第1号））	全会一致	原案承認
議第92号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度村上市一般会計補正予算（第7号））	全会一致	原案承認
議第93号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度村上市情報通信事業特別会計補正予算（第1号））	全会一致	原案承認
議第94号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算（第2号））	全会一致	原案承認
議第95号	村上市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について	全会一致	原案可決
議第96号	村上市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について	全会一致	原案可決
議第97号	村上市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定について	全会一致	原案可決
議第98号	村上市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について	全会一致	原案可決
議第99号	村上市職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について	全会一致	原案可決
議第100号	村上市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	全会一致	原案可決
議第101号	村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	全会一致	原案可決
議第102号	村上市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	全会一致	原案可決

議案番号	議案名	表決	結果
議第103号	下越福祉行政組合の共同処理する事務の変更について	全会一致	原案可決
議第104号	神林いこいの家条例を廃止する条例制定について	全会一致	原案可決
議第105号	市道路線の認定について	全会一致	原案可決
議第106号	村上市特定地域等振興対策事業施設条例の一部を改正する条例制定について	全会一致	原案可決
議第107号	公の施設に係る指定管理者の指定について（上助測コミュニティセンター）	全会一致	原案可決
議第108号	公の施設に係る指定管理者の指定について（二子島森林公園）	全会一致	原案可決
議第109号	令和4年度村上市一般会計補正予算（第8号）	全会一致	原案可決
議第110号	令和4年度村上市情報通信事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
議第111号	令和4年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算（第3号）	全会一致	原案可決
議第112号	令和4年度村上市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致	原案可決
議第113号	令和4年度村上市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
議第114号	令和3年度村上市一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致	原案認定
議第115号	令和3年度村上市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	原案認定
議第116号	令和3年度村上市情報通信事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	原案認定
議第117号	令和3年度村上市蒲萄スキー場特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	原案認定
議第118号	令和3年度村上市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	原案認定
議第119号	令和3年度村上市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	原案認定
議第120号	令和3年度村上市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	原案認定
議第121号	令和3年度村上市上水道事業会計決算認定について	全会一致	原案認定
議第122号	令和3年度村上市簡易水道事業会計決算認定について	全会一致	原案認定
議第123号	令和3年度村上市下水道事業会計決算認定について	全会一致	原案認定
議第124号	令和4年度村上市一般会計補正予算（第9号）	全会一致	原案可決
議第125号	令和4年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算（第4号）	全会一致	原案可決
議第126号	令和4年度村上市上水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
議第127号	令和4年度村上市簡易水道事業会計補正予算（第3号）	全会一致	原案可決
議第128号	令和4年度村上市下水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決

※ 網掛けの議案は次ページに賛否を掲載しています。

各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 *：会派の経理責任者

議案番号	鷺ヶ巣会				清流会			高志会			市声クラブ			新政村上		令和新風会		賛否結果	賛成	反対			
	◎大滝国吉	*鈴木いせ子	河村幸雄	菅井晋一	◎川崎健二	*鈴木好彦	三田敏秋	◎尾形修平	*小杉武仁	鈴木一之	◎木村貞雄	*本間善和	山田勉	◎長谷川孝	*佐藤重陽	◎川村敏晴	*高田晃						
議第119号	○	※1	○	○	※1	○	※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	17	1
議第120号	○	※1	○	○	※1	○	※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	17	1

※1 欠席したため表決に参加していません。

※2 議長は地方自治法第116条第2項の規定により表決に参加していません。

陳情の審査結果

陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員の了承で、願意了承となります。

件名	陳情者	所管委員会	審査結果
「コロナ禍においても私立高校生が学費の心配なく学び続けられるよう、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村直美	総務文教 常任委員会	願意了承
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する陳情	全日本自治団体労働組合新潟県本部 執行委員長 登坂崇規	総務文教 常任委員会	願意了承
中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	井田敏美	県外からの郵送による陳情は、原則として委員会で審査せず、全議員への配布にとどめる取り扱いとしています。	

意見書

◎コロナ禍においても私立高校生が学費の心配なく学び続けられるよう、私学助成の増額・拡充を求める意見書

◎地方財政の充実・強化に関する意見書

上記の意見書が本会議で可決され、関係行政庁に送付されました。

人権擁護委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。(任期：令和5年4月1日～8年3月31日)



さとう やえこ
佐藤八重子氏
(村上地区・再任)



そうま ゆきこ
相馬由紀子氏
(朝日地区・再任)



すがわら ちづこ
菅原千鶴子氏
(山北地区・再任)



かとう なおこ
加藤直子氏
(村上地区・再任)



さの かずひこ
佐野一彦氏
(村上地区・再任)



わだ としひさ
和田壽久氏
(朝日地区・再任)



かとう まさし
加藤正志氏
(山北地区・再任)



かんだ しゅうこう
神田秀孝氏
(神林地区・新任)

人権擁護委員は、人権擁護委員法の規定により、市長の推薦、市議会の同意を経て法務大臣から委嘱されており、法務局と連携して活動を行っています。

市民へインタビュー

元気と笑顔で駆け巡る毎日

地域おこし協力隊

うお の
魚野ルミさん（山北地区）



■自己紹介をお願いします

五泉市出身、20年ほど英会話教室・学習塾を営み、司会業、キッチンカー、町おこし団体運営などをしていましたが、新たな出会いを求めて山北へと単身移住しました。

■村上市を選んだ理由は

観光ガイドとして外国人の方々と各地を訪問したのが15年前。以来、魅力的なコンテンツが多く、可能性にあふれるまちだと強く感じていました。息子2人の子育ても一段落し、新たな人生を模索している時、Facebookで協力隊の募集を見つけ応募させていただきました。

■日常はどのような活動をされていますか

情報発信と関係人口拡大がミッションです。日々各地へお邪魔してお話をお聞きし、暮らしを体

験させてもらいながら発信しています。また、山北の文化や魅力をお伝えするべく、市外での講演活動や直接宣伝できる機会を大切にしています。

■こちらで生活した感想と今後の抱負は

かたくなに守り続ける「生業（なりわい）」に地域の誇りを感じます。物々交換で暮らしてしまうほどの距離感の近さに慣れたら、もうよそでは暮らせません（笑）。村上市に定住してもっと強力で地域をつなぎ、県内外、世界へと情報発信し、人を呼び込めるまちづくりにまい進していきたいです。

村上高校で市議会の役割を講義

R 4.10.14



県立村上高校で1学年の生徒を対象に、本市の現状や課題を知り、関心のある分野の現状を学ぶことを目的に、市の「おらかみ出前講座」のメニューから8つの講座が開かれました。

当市議会からも議会広報特別委員会2人の議員が講師となり、市議会の役割や仕組みについてお話ししました。幾分難しい内容とはなりましたが、熱心に耳を傾けてくれました。

令和4年12月定例会のお知らせ(予定)

11月22日(火)	請願・陳情の提出期限（正午まで）
12月6日(火)	定例会初日（本会議）
8日(休)	一般質問（本会議）
9日(金)	
12日(月)	
13日(火)	
14日(水)	総務文教常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
15日(木)	市民厚生常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
16日(金)	経済建設常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
20日(火)	一般会計予算・決算審査特別委員会
23日(金)	定例会最終日（本会議）

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。